

地域から世界へ、
世界を身近に

2022年度 国際交流基金地球市民賞 応募ガイドライン

The Japan Foundation Prizes for Global Citizenship 2022 Guideline



どなたでも応募できます（自薦・他薦問わず最大5件まで）

授賞件数

3件以内

応募締切

2022年8月3日（水）〈郵送の場合は、当日消印有効〉

授賞内容

正賞（賞状）と副賞（1件200万円）

発表

2023年1月下旬
国際交流基金ウェブサイトにて発表

お問合せ
送付先

国際交流基金 広報部 地球市民賞事務局 〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-4 四谷クルーセ
Tel.03-5369-6075 Eメール chikyushimin@jpf.go.jp

応募ガイドライン
応募用紙

<https://www.jpf.go.jp/j/about/citizen/guideline/>



2022年度国際交流基金地球市民賞 受賞候補団体を募集します。

国際交流基金地球市民賞(以下、地球市民賞)は、1985年に創設され、本年度で38年目を迎えます。これまで115団体が受賞され、さらなる飛躍のきっかけとなるとともに、地域の活性化、地方創生にも貢献しています。

全国各地で、国際文化交流活動を通じて、日本と海外の市民同士の結びつきや連携を深め、互いの知恵やアイデアを交換し、ともに考える団体を応援します。

【地球市民賞概要】

対象となる団体

公益性の高い国際文化交流活動を行っている日本国内の団体。

※団体の法人格は問いませんが、地方自治体は対象となりません。

活動例

- 日本と海外をつなぐ文化・芸術の交流を通じて、豊かで活気のある地域やコミュニティをつくる活動など。
- 外国人の多様な文化(言語教育を含む)を理解、尊重し、ともに豊かで活気のある地域やコミュニティを築いていこうとする活動など。
- 共通の関心や問題意識を通じ、日本と海外の市民同士の連携や相互理解を深める活動など。

5つの 選考ポイント

1 先進性

国際文化交流の一つのモデルとして、他の団体の参考となる活動であること。

2 独自性

独自のアイデアを活かした活動であること。

3 継続性

少なくとも3年以上、着実な活動をしてきていること。

4 将来性

今後も着実に活発な活動が継続されることが見込まれること。

5 社会に対する影響力

社会的な広がりや浸透力のある活動であること。

応募方法

全国より、自薦/他薦にて広く募集します。(どなたでも応募できます!)

下記ウェブサイトより応募ガイドライン・応募用紙(Microsoft Word形式、PDF形式)をダウンロードし、必要事項をご記入の上、Eメール、郵送にてご応募ください。

応募ガイドライン・応募用紙

<https://www.jpf.go.jp/j/about/citizen/guideline/>



件数 お一人／一団体、最大5件まで応募できます。

締切 2022年8月3日(水)〈郵送の場合は、当日消印有効〉

お問い合わせ：送付先

国際交流基金 広報部 地球市民賞事務局

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-4 四谷クルーセ

Tel. 03-5369-6075

Eメール chikyushimin@jpf.go.jp

※応募用紙は2022年度版をお使いください。

※応募用紙受理後、内容確認のため担当者よりご連絡を差し上げる場合があります。

※応募用紙をダウンロードできない場合は、事務局までご請求ください。

※選考の参考となる資料があれば添付、もしくは郵送ください。なお、ご提出いただいた書類及び資料は返却いたしませんので、ご了承ください。

受賞団体の発表

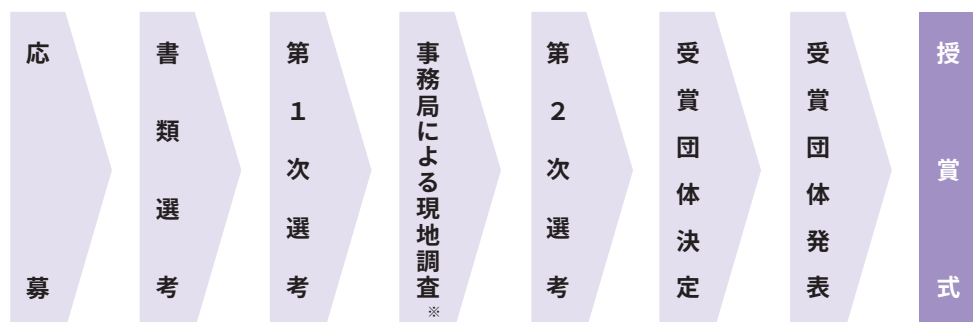
2023年1月下旬に国際交流基金ウェブサイトにて発表します。

※応募いただいた皆様には、Eメールまたは書面にて結果を通知いたします。

※授賞式は、2023年2月下旬～3月上旬に開催を予定しております。

受賞団体には、正賞(賞状)ならびに副賞(1件200万円)を贈呈いたします。

選考のプロセス



※事務局によるwebインタビューになる場合があります。

2021年度受賞団体の紹介

※授賞理由、受賞団体のコメントは授賞時のものです。

受賞団体の
活動紹介動画



一般社団法人

エル・システマジャパン

子どもたちが音楽を通して 生きる力を育む

(東京都千代田区)



■授賞理由

エル・システマとは、オーケストラ活動を通じて貧困等の社会課題に取り組むことを目的に、南米ベネズエラで始まった音楽教育プログラムです。このプログラムを日本で展開する同団体は、福島県相馬市という東日本大震災と原発事故で甚大な被害を受けた町で、日常を失った子どもたちに何か生きる希望を持ってほしいとの思いから設立されました。その活動は、その後岩手県大槌町、長野県駒ヶ根市まで広がり、海外の子どもたちと合同でオーケストラやコーラスの練習、コンサート開催にまで至るといった大きな成長を見せています。音楽を通じて子どもたちが世界とつながり、自分に自信を持つよう工夫された活動であり、同時に地域活性化にも貢献しています。

■受賞団体のコメント

地球市民賞受賞の喜びを、活動を支える全ての仲間と共有したいです。10年前の今頃、日々悶々と考えていました。被災地の子どもたちの未来をつくるために、エル・システマは何ができるのかを。資金はなく、実現できる保証は全くありませんでした。そうした中、志の高い地域の人々や、背中を押し、支援してくれた国内外の応援団がいました。心より感謝の気持ちを伝えたいです。これからも、ますます精進していきたいと思えます。

学校法人

ムンド・デ・アレグリア学校

かけはしとなる

「ダブルアドバンテージ」の人材を育成

(静岡県浜松市)



■授賞理由

静岡県浜松市には、数多くの南米からの日系二世・三世が居住し、地域の企業の生産現場を支えています。長きにわたり地域で働き、子どもが生まれ、家族と共に地域住民として生活していますが、地域で公教育を受ける際には、職場での環境以上に言葉の壁が高くそびえ立ち、子どもたちが教育現場で辛い立場になる場面も多々生じてきました。その状況に課題を感じた地域の日本人女性が、外国人学校ムンド・デ・アレグリア学校を設立し、幼稚園から高校生の外国人の子どもたちが、日本と母国の両方に対応した教育を受けられるようになりました。さらには、進学や就職等の進路相談にも対応し、一人ひとりが自分の未来を切り拓くサポートを行い、国籍や年齢にかかわらずダイバーシティ社会実現への一助となっています。

■受賞団体のコメント

この度は栄えある賞をいただき誠にありがとうございます。

教職員一同の努力が報われ、学校に集う南米の子どもたちの存在意義が認められたように感じております。ムンド・デ・アレグリアという名前の通り、まさに歓びの世界を感じました。地球市民、そう、私たちは何人であれ、母なる地球に誕生し平和で安全に仲良く暮らしていくことがそれぞれにとっての幸せであり、心の平和だと感じています。この賞をいただき、さらに精進し「すべての子どもたちに学ぶ歓び」の実現を目指していきます。

特定非営利活動法人

名古屋難民支援室

難民及び難民申請者を支援する 東海地方唯一のNPO

(愛知県名古屋市)



■授賞理由

名古屋難民支援室は、難民申請の手続きや申請中の生活支援、手続き後のサポート等、長期に寄り添う必要がある難民を対象に支援活動を行ってきた弁護士や地域の支援者らが、2012年に設立した東海地方唯一の難民の拠り所です。法的な手続きだけでなく、社会的な保障がない難民からの年間1,000件以上に上る相談に対応。フードバンクを通じた食料支援や難民認定後の地域での定着支援等、相談者へのヒアリングを重ねながら幅広いサポートを行っています。コロナ禍で困窮する難民からの相談も急増する中、近年は難民への理解を広めるための啓発活動にも力を入れており、多様な担い手が連携しながら難民を支える取り組みが地域に浸透しつつあります。

■受賞団体のコメント

この度は、地球市民賞をいただき、誠にありがとうございます。

日本に逃れ、東海地域に暮らしている難民の人々、難民支援のためご協力いただき、応援して下さる地域の支援団体や弁護士、そして個人の皆さま、弊団体の役員やスタッフとこの賞を分かち合います。

地球市民として、今後も難民の人々のために尽力し、より良い社会を築いていけるよう、努力し続けます。

最近の受賞団体(2016~2021)

年度	団体名	活動内容
2021	一般社団法人 エル・システムジャパン	南米ベネズエラ発祥の音楽教育プログラム「エル・システム」を日本で展開。東日本大震災被災地等を中心に、音楽を通じて子どもたちが世界とつながり、自分に自信を持つよう工夫された活動であり、同時に地域活性化にも貢献している。
	学校法人 ムンド・デ・アレグリア学校	静岡県浜松市に数多く来日する南米からの子どもたちに向けて、日本と母国の両方に対応した教育を受けられる外国人学校「ムンド・デ・アレグリア学校」を設立。国籍や年齢等にかかわらずダイバーシティ社会実現への一助となっている。
	特定非営利活動法人 名古屋難民支援室	名古屋難民支援室は、東海地域に暮らす難民が法的に保護され、安定して自立した生活を送れるよう支援を行っている。食料支援や地域での定着支援など、難民一人ひとりに寄り添いながら、より良い多文化共生社会の実現にも貢献している。
2020	高田馬場さくらクリニック	外国にルーツを持つスタッフと協働し、外国人住民が気軽に通えるまちのクリニックを開院、運営。受診者に寄り添い、外国人住民の予防医療やスタッフの人材育成にも尽力。持続性のある多文化共生への貢献を行っている。
	特定非営利活動法人 海外に子ども用車椅子を送る会	利用されなくなった子ども用車椅子を回収し、整備している。活動を支える老若男女の約半数は日本で生活する外国人であり、活動が国際交流の場にもなっている。届けた後の整備など、継続的な取り組みの体制をしっかりと構築している。
	特定非営利活動法人 こえとことばとこころの部屋	「生きることは表現」をテーマに、労働者のまち大阪市西成区釜ヶ崎で、様々な背景の人々に出会いと表現の場を開き、社会との関わりを後押しする。海外の同種の団体やアーティストとの交流にも活動の幅を広げている。
2019	四日市市立西笹川中学校多文化共生サークル	西笹川中学校は外国にルーツを持つ生徒が3割を占める。「多文化共生サークル」は中学生が主体となって防災行事や夏祭り、文化祭等、地域のイベントに密接に関わりながら、多文化共生のまちづくりに参画している。
	特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド	「心身ともに健全な育成」という理念に基づき、被災地や紛争地および開発途上国の子どもたち、障がい者、貧困層の人々に対して、体育教育支援や養護施設・青少年人材の育成を目的とした日本語教室の運営、県内各所と連携した交流を行っている。
	国際児童・青少年演劇フェスティバル おきなわ実行委員会	国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ(通称「りっかりっか*フェスタ」)は、豊かな芸術体験は「マチグスイ=命の薬」との考えから、子どもたちや地元の人々が独創的で上質な世界中の舞台公演に気軽に触れる機会を長年提供してきた。
2018	小松サマースクール実行委員会	石川県小松市で毎年開催される高校生のためのサマースクール。日米の大学生が企画や運営のほぼ全てを行っている。高校生たちが多様な年代や文化背景を持つ人たちと出会い、国際交流の価値に触れる取り組みとなっている。
	一般社団法人 グローバル人財サポート浜松	独自のカリキュラムや教材を開発し、介護の現場で必要な日本語や技能の指導を行い、定住外国人の就労支援を行なっている。学生の社会貢献活動の支援や、浜松市内の介護事業者の組合活動など、多岐にわたる活動を行っている。
	特定非営利活動法人 パンゲア	ICT技術を使い、世界中の子どもたちが出会い、コミュニケーションできるプラットフォームを運営している。「ピクトン」という絵文字や機械翻訳「げんごろう」を開発、使用言語による序列化を起こさない姿勢を貫いている。
2017	芝園団地自治会	住民の4割を超える外国人住民と日本人住民の生活習慣の違いから生じる溝を埋めるべく、学生団体「芝園かけはしプロジェクト」と協働し「多文化共生の地元づくり」を推進している。
	特定非営利活動法人 Nagomi Visit	海外から訪れる人々が日本で「ホームビジット」体験ができるよう、訪問者と一般家庭のマッチングを行っている。日本の一般家庭で家庭料理を食べながら2、3時間の気軽な国際交流を行うこの活動は年々広がりを見せている。
	特定非営利活動法人 黄金町エリアマネジメントセンター	横浜市初黄・日ノ出町地区を主な活動エリアとし、地域・行政・警察・大学・アーティスト等と連携しながら、アートを通じて創造的で特色ある「界限」の形成を進めている。
2016	ノルテ・ハボン(コスキン・エン・ハボン開催事務局)	福島県川俣町で中南米音楽祭「コスキン・エン・ハボン」を開催。1975年に始まり、現在では1万人を集める国内最大級の「フォルクローレ」イベントに成長。
	一般財団法人 熊本市国際交流振興事業団	多文化共生事業や地球市民育成事業等を通じ、地域のグローバル化の課題に市民レベルで取り組む。2016年の熊本地震では、活動によって培われた日常の地域の“つながり”が大きな力を発揮した。
	硫黄島地区会	硫黄島はギニアの太鼓「ジャンベ」の島として知られている。1994年の「ジャンベの神様」ママディ・ケイタ氏の来島以降、ジャンベを通じた国際交流が活発に続けられている。

※最近の受賞団体順に掲載。1985年度から2015年度までの受賞団体につきましては、下記のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jpfg.go.jp/about/citizen/>

中国地方

- <鳥取県>
●特定非営利活動法人 鳥の劇場 [2011]
●智頭町活性化プロジェクト集団 [1995]
<島根県>
●特定非営利活動法人 あしぶえ [2002]
<岡山県>
●特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド [2019]
<広島県>
●広島アジア文化会館 [1988]

四国地方

- <徳島県>
●特定非営利活動法人 グリーンバレー [2009]
<香川県>
●公益社団法人 セカンドハンド [2004]
<愛媛県>
●特定非営利活動法人
えひめグローバルネットワーク [2007]
<高知県>
●Genki 青年会 [2005]
●高知市立高知商業高等学校生徒会 [2002]

近畿地方

- <三重県>
●四日市市立西笹川中学校多文化共生サークル [2019]
●財団法人 大内山塾 [1988]
<滋賀県>
●東近江大風保存会 [2001]
<京都府>
●特定非営利活動法人 バンゲア [2018]
●特定非営利活動法人 テラルネッサンス [2012]
●特定非営利活動法人
ジャパン・コンテンツポラリー・ダンス・ネットワーク(JCDN) [2006]
●財団法人 母と学生の会 京都支部
「国際女子留学生センター」 [1987]
●公益財団法人 京都「国際学生の家」 [1985]
<大阪府>
●特定非営利活動法人 こえとことばとこころの部屋 [2020]
●公益財団法人 山本能楽堂 [2015]
●社会福祉法人 こころの家族
特別養護老人ホーム故郷の家 [2001]
●特定非営利活動法人 多文化共生センター
(旧・外国人地震情報センター) [1995]
●特定非営利活動法人 関西国際交流団体協議会 [1994]
●公益社団法人 アジア協会アジア友の会 [1986]
<兵庫県>
●特定非営利活動法人 神戸定住外国人支援センター [2015]
●特定非営利活動法人 プラス・アーツ [2014]
●特定非営利活動法人 ダンスボックス [2010]
●特定非営利活動法人 芸術と計画会議(C.A.P.) [2007]
●特定非営利活動法人 たかどりコミュニティセンター [2002]
●神戸クロスカルチュラルセンター [1991]
●公益財団法人 PHD協会 [1988]
<奈良県>
●特定非営利活動法人 なら国際映画祭実行委員会 [2014]
●一般財団法人 たんぽぽの家 [1994]

東北地方

- <青森県>
●特定非営利活動法人
ジュニア・グローバル・トレーニングスクール [2006]
<岩手県>
●陸前高田市国際交流協会(理事長特別賞) [2011]
●藤沢町国際交流協会 [1998]
●財団法人 岩手国際理解推進協会 [1992]
<宮城県>
●国際交流協会ともだちin名取(理事長特別賞) [2011]
●特定非営利活動法人
国際都市仙台を支える市民の会(ICAS) [1997]
<秋田県>
●秋田県国際交流をすすめる婦人の会「わびえ」 [1995]
<山形県>
●戸沢村国際交流協会 [2004]
●特定非営利活動法人 IVY [1996]
●置賜百姓交流会 [1993]
●庄内国際交流協会 [1990]
<福島県>
●ノルテ・ハボン(コスキン・エン・ハボン開催事務局) [2016]
●特定非営利活動法人 ザ・ピープル(理事長特別賞) [2011]

中部地方

- <新潟県>
●ミティラー美術館 [1998]
●アース・セレブレーション実行委員会 [1994]
<富山県>
●スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド実行委員会 [2008]
●いなみ国際木彫刻キャンプ実行委員会 [1999]
●一般社団法人 富山県芸術文化協会 [1990]
●劇団文芸座 [1985]
<石川県>
●小松サマースクール実行委員会 [2018]
●金沢を世界へひらく市民の会 [1987]
<福井県>
●武生国際音楽祭推進会議 [2003]
<長野県>
●社団法人 長野国際親善クラブ [1993]
●いいだ人形劇フェスタ実行委員会 [1991]
<岐阜県>
●特定非営利活動法人 ブラジル友の会 [2011]
●アーティスト・イン・レジデンス
「美濃・紙の芸術村」実行委員会 [2003]
<静岡県>
●学校法人 ムンド・デ・アレグリア学校 [2021]
●一般社団法人 グローバル人財サポート浜松 [2018]
●特定非営利活動法人 浜松NPOネットワークセンター [2009]
<愛知県>
●特定非営利活動法人 名古屋難民支援室 [2021]
●公益財団法人 豊田市国際交流協会 [2001]
●とこなめ国際やきもの
ホームステイ実行委員会 [1997]

九州地方

- <福岡県>
●特定非営利活動法人 アジア女性センター [2007]
●特定非営利活動法人
アジア・太平洋子ども会議イン福岡 [1992]
<佐賀県>
●玄海人クラブ [2000]
●特定非営利活動法人 地球市民の会 [1989]
<長崎県>
●長崎国際交流塾 [2004]
●長崎県世界青年友の会(面白ちんぐ倶楽部) [1996]
<熊本県>
●一般財団法人 熊本市国際交流振興事業団 [2016]
●特例社団法人 熊本たけのこ会 [1993]
<大分県>
●国立大分工業高等専門学校
足踏みミシンボランティア部 [2012]
<鹿児島県>
●硫黄島地区会 [2016]
●太鼓集団 蒲生郷太鼓坊主 [1997]
●特定非営利活動法人 からいも交流 [1986]
<沖縄県>
●国際児童・青少年演劇フェスティバル
おきなわ実行委員会 [2019]
●特定非営利活動法人
アメリカンスクール・イン・オキナワ [2014]
●琉球国際太鼓 [1999]

北海道

- <北海道>
●特定非営利活動法人 雪合戦インターナショナル [2013]
●特定非営利活動法人 S-AIR [2008]
●特定非営利活動法人 チェルノブイリへのかけはし [2005]
●北方圏国際シンポジウム実行委員会 [2003]
●江差追分会 [2000]
●札幌こどもミュージカル育成会 [1998]
●北海道国際女性協会 [1989]
●一般財団法人 北海道国際交流センター [1985]



★は2021年度

関東地方

- <茨城県>
●特定非営利活動法人 自然生クラブ [2009]
●浅賀正治(個人) [2005]
●「茨城アジア教育基金」を支える会 [1992]
●高萩市国際交流協会 [1986]
<栃木県>
●栃高国際ボランティアネットワーク [2000]
●いっくら国際文化交流会 [1991]
●学校法人 アジア学院 [1989]
<群馬県>
●特定非営利活動法人
大泉国際教育技術普及センター [2008]
●からす川音楽集団 [1995]
<埼玉県>
●芝園団地自治会 [2017]
●特定非営利活動法人 メイあさかセンター [1996]
<千葉県>
●浦安市国際交流協会 [1990]
●財団法人 京葉教育文化センター [1987]
<東京都>
●一般社団法人 エル・システムジャパン [2021]
●高田馬場さくらクリニック [2020]
●特定非営利活動法人 海外に子ども用車椅子を送る会 [2020]
●特定非営利活動法人 Nagomi Visit [2017]
●特定非営利活動法人 Peace Field Japan [2015]
●特定非営利活動法人 難民支援協会 [2012]
●特定非営利活動法人 かものはしプロジェクト [2011]
●特定非営利活動法人 アクション [2010]
●特定非営利活動法人 多文化共生センター東京 [2006]
●財団法人 おはなしきやらばんセンター [1999]
<神奈川県>
●特定非営利活動法人 黄金町エリアマネジメントセンター [2017]
●特定非営利活動法人 BankART1929 [2013]
●特定非営利活動法人 多言語社会リソースかながわ(MICかながわ) [2013]
●多文化まちづくり工房 [2010]